

令和6年度 東京都立志村学園 学校経営報告

統括校長 並木 信治

今年度の取組評価と今後の課題

I 学校経営

◎達成 ○ほぼ達成 △課題あり

項目	(数値) 目標	達成状況	評価
(1) 人権の尊重と安全の確保	学校評価アンケートにおける肯定的評価 90%以上	児童・生徒 89% 保護者 96% 教職員 100%	○
	アンケート回収率 100% 教職員面接 100%	アンケート回収率 100% 体罰等防止面接 100%	◎
	研究成果の共有と発表 (人権尊重教育推進校)	リーフレットの作成、配布完了	◎
(2) 基本的感染症対策	校内における感染拡大 0	校内における感染拡大 0	◎
(3) 4S の徹底	4S デー（毎週水曜日）の実施	年間を通して実施 生徒の活動にも派生	◎
(4) 部門間交流の推進	アンケートでの肯定的評価 80%以上	肯定的評価 児童・生徒 73% 保護者 96% 教職員 92%	○
(5) 信頼される学校づくり	HP、X、Instagram 等による学校外への情報発信年 250 回以上	HP 更新等 年間約 300 回	◎
	カフェオープン、企業での授業実践の実施 年 30 回以上	レストラン(ランチ)オープン、 校内カフェオープン 26 回 企業での授業実践 30 回以上	◎
(6) 次代を担う人材育成	教職員アンケート（主任教諭・若手教諭）における肯定的評価 90%以上 （主任教諭会）	実施後聞き取りによる肯定的評価 90%以上 次年度も継続	◎
	教職員アンケートにおける肯定的評価 90%以上（摂食機能関連研修）	研修事後アンケートにおける肯定的意見多数	◎

【今後の課題】

- ・肢体、就技両部門間の積極的交流のさらなる促進と共同学習的要素の追究
- ・次代を担う若手教員の育成と障害種に応じた教員の専門性向上

II 学習指導

項目	(数値) 目標	達成状況	評価
(1) カリキュラム・マネジメント	各教科間及び日常生活や職業との関連を意識した具体的シラバスの作成	両部門における校内研究の計画的実施 職業に関する教科の全面的シラバス改定	◎

(2) 障害特性を踏まえた専門性の向上	自己申告における改善課題の明確化（全教員） アンケートでの肯定的評価（改善の実感）90%以上	自己申告における課題の明確化 全教員実施 アンケートでの肯定的評価 99%	◎
(3) DX 推進と発信力の育成	指導事例・作成教材の共有（就技全教科、肢体全学習 G） プレゼンテーション発表会等の実施年 3 回以上（就技）	全教科でスマートスクール端末の活用推進を継続（就技） 成果発表会（3 年）、英語科、数学科における取組等	○
(4) 心と身体を育む性教育	教科等横断的な計画・実施・検証（通年）	教員対象研修会の実施 教科横断的指導については継続課題	△
(5) 外部人材・外部機関の活用	外部専門家等による教職員へのフィードバックの実施 100% 外部専門家等を講師とした研修の実施年間 15 回	フィードバックを適正に実施 校内研究に位置づけ活用の活性化 研修実施年間 15 回	◎
(6) 学校 2020 レガシーの継承	学習機会の設定 各部門年間 2 回程度	茶道（1 年次 3 回）、生け花（部活動年間 10 回）（就技） 伝統文化鑑賞（肢体） 障害者スポーツ体験等実施	◎
(7) 図書活用・読書活動の推進	延べ利用者数 年間 1,000 人以上	延べ利用者数 2,891 人	◎
	延べ貸出数 年間 800 冊以上	延べ貸出数 就技 775 冊、肢体 568 冊	◎

【今後の課題】

- ・人権尊重教育推進校 2 年目としての教科横断的授業改善
- ・全教員の障害特性に係る理解の深化と専門性の向上
- ・図書館支援員を活用した図書館管理と蔵書の充実

Ⅲ 進路指導・キャリア教育

項目	（数値）目標	達成状況	評価
(1) 企業就労 100% （就業技術科）	企業就労 100%	企業就労 98.4%	○
	進路決定 100%	100%	◎
(2) 進路決定 100% （肢体不自由教育部門高等部）	進路面談 対ニーズ 100% 保護者対象研修の実施 年間 1 回以上	対ニーズ 100%実施 保護者対象研修会実施 1 回	◎
	新たな進路先の開拓と方向性の決定（高等部 7 G）	企業体験、大学等オープンキャンパス参加等	○
(3) 継続教育の実施	本人講座の実施 年間 10 回	年間 10 回実施	◎
(4) ロールモデルの提示	不適切な指導、体罰 0 卒業生講話 年間 1 回以上	不適切な指導・体罰 0 件 卒業生講話年間 1 回（就技・肢体）	◎

【今後の課題】

- ・生徒の実態を踏まえた適切な進路指導の継続（就技・肢体）
- ・関係機関、企業等との連携のさらなる強化（就技）
- ・各地域の進路状況に係る保護者との積極的な情報共有（肢体）

IV 生活指導

項目	（数値）目標	達成状況	評価
(1) 相談支援体制の充実	SCによる就技1年への全員面接を実施 （6月まで） 相談体制の構築(通年)	全員面接完了 SC相談実績 生徒159件、保護者15件、 教員7件	◎
	自殺防止、SNSルール、いじめ防止に関する授業の実施 年間3回（就技）	各学年 年間3回実施	◎
(2) 安全教育の推進	セーフティ教室の実施 年間3回以上	生徒対象3回 保護者対象1回	◎
(3) 通学手段の充実 （肢体不自由教育部門）	医療的ケア専用車両の安全運行（肢体） （事故等件数0件）	年間事故件数 0	◎
(4) 防災教育の充実	避難訓練 原則合同年間11回	計画通り実施 （+教員対象訓練1回）	◎
	宿泊防災訓練の実施 両部門合同年1回	宿泊防災訓練 計画通り実施	◎

【今後の課題】

- ・SC、心理士を活用した相談体制のさらなる充実
- ・肢体不自由教育部門におけるSCの効果的活用
- ・自殺防止、いじめ防止、SNSルールの徹底等に関する指導のさらなる充実

V 特別活動・保健指導・入学相談・交流教育

項目	（数値）目標	達成状況	評価
(1) 人間性を育む部活動	顧問会の実施 年間2回以上 大会又は各種行事への参加 年間1回以上（就技）	計画通りに実施 全部活動が各種大会、行事に 参加 部活動まつり実施	◎
(2) 医療的ケアの推進 （肢体不自由教育部門）	第3号研修受講済み教職員80%以上 （肢体）	研修履修率 100%	◎
	必要物品の随時購入による保持100% （肢体）	必要物品の不足状況発生なし	○
(3) 広報活動の多様化 （就業技術科）	学科説明会 年間20回 授業体験 年間5回 部活動体験 年間1回	学科説明会 20回実施 授業体験 6回実施 部活動体験 2回実施 部活動見学 2回実施 上級学校訪問対応	◎

(4) 入学・転学相談の充実(肢体不自由教育部門)	適正な相談の実施 年間随時 苦情案件 年間 0 件	対ニーズ実施 100% 苦情案件 0 件	◎
(5) 交流教育の推進 (肢体不自由教育部門)	副籍直接交流 年間 5 件 副籍関節交流 年間 10 件 学校間交流 年間 2 回	直接交流 延べ 10 回以上 志村第五小学校 対面及びオンライン交流 年間 5 回	◎
(6) 都立高等学校への支援	連絡協議会の実施 年間 3 回以上	情報交換会 4 回実施 訪問支援 15 回以上実施	◎

【今後の課題】

- ・積極的な広報活動による受験者数の確保
- ・学校間交流の発展的継続、副籍交流の活性化
- ・都立高等学校への支援体制づくりとネットワークの強化

VI 能力開発・働き方

項目	(数値) 目標	達成状況	評価
(1) ライフ・ワーク・バランスの実現	学校閉庁日 年間 5 日 定時退庁日 毎週水曜日 月 45 時間以上超過勤務者 毎月 25%以下	閉庁日 5 日設定 定時退庁日 通年実施 月 45 時間以上超勤者 年平均約 24%	○
(2) ウェル・ビーイングの推進	達成感や有用感、前向きな感情を育み 合える職場環境の構築	積極的な教職員からの意見聴取機会の設定 教職員間交流活動の推進	○

【今後の課題】

- ・積極的な業務見直しによる教職員の業務効率化や時間の有効活用への意識喚起
- ・ウェル・ビーイングの向上による、持続可能な「働きがい」のある職場づくり